

ほけんだより



金武小学校保健室
平成30年2月23日

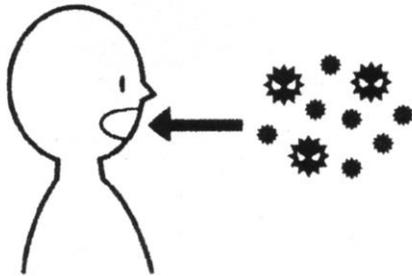
かんせんせい いちちょうえん 感染性胃腸炎に要注意！

2年2組で、ノロウイルスなどによる感染性の胃腸炎が発生し、本日午前より学級閉鎖となっています。ご家庭でお子様の健康観察をしっかりと行い、下痢・おう吐・吐き気、などの症状がありましたら、登校させずに病院を受診して下さい。

潜伏期間は1～2日で、主な症状は、吐き気・おう吐・下痢・腹痛などです。個人差がありますが、発熱は軽度です。通常は、2～3日で症状はおさまりませんが、乳幼児や高齢者が発症すると重症化することがあります。また、感染力がとても強いので、医師の指示により出席停止の対象になります。患者の排泄物（便）やおう吐物で感染がひろがりますので、適切に処理し、手洗いをしっかりと行い、予防しましょう。

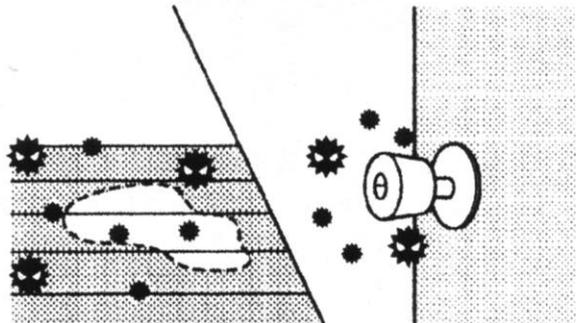
ノロウイルスって、どんなウイルス？

感染力が強い



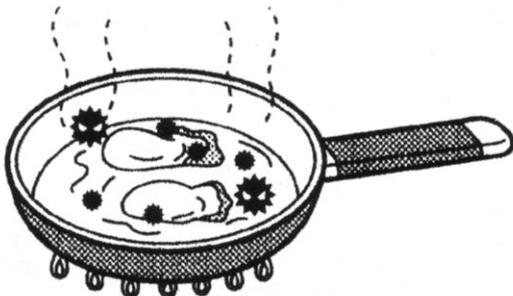
患者の便1グラムには、1億から1兆個ものノロウイルスが含まれていて、そのうちの10～100個のウイルスが体に入っただけで発症します。

環境に強い



床やドアノブなどについたウイルスはなかなか死にません。乾燥するとほこりといっしょに舞い上がり、それを吸った人が感染することがあります。

熱に強い



さっと火を通すだけでは死にません。食品の中心の温度が85℃以上になってから、1分以上加熱する必要があります。

消毒に強い



アルコールでは消毒できません。0.1%の次亜塩素酸ナトリウム液での消毒が必要です。

おう吐物の処理法

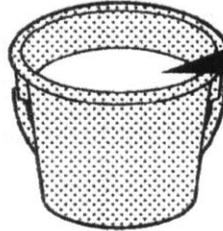
おう吐物にも、便よりは少ないものの大量のウイルスがいます。適切に処理して感染の拡大を防ぎましょう。

用意するもの

白衣またはエプロン、不織布マスク、ゴム手袋、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）、バケツ、新聞紙、ペーパータオル

手順

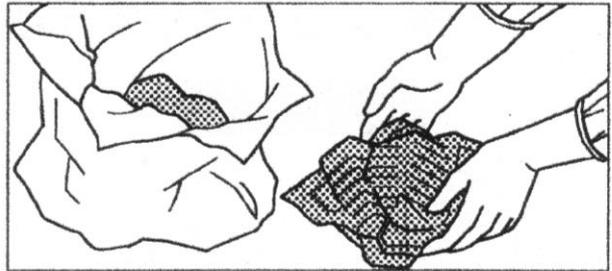
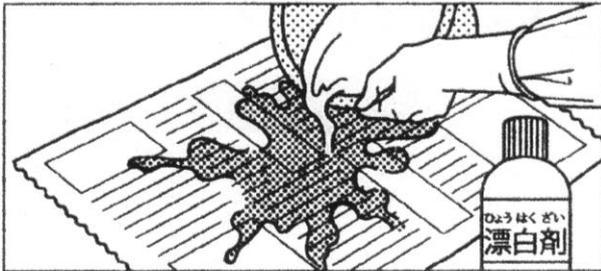
①白衣（エプロン）、不織布マスク、ゴム手袋を装着し、0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液を作っておきます。



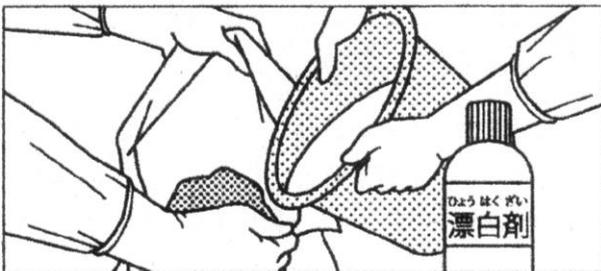
0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液

次亜塩素酸ナトリウムは市販の塩素系漂白剤の成分です。漂白剤原液10mLに対し水500mLを加えることで、濃度が約0.1%になります。

②換気をして、おう吐物に新聞紙（ペーパータオル）をかぶせ、上から次亜塩素酸ナトリウム溶液を染み込ませて、おう吐物を外側から内側に向けて拭き取ります。



③おう吐物をふき取った新聞紙（ペーパータオル）を入れたビニール袋の中や、おう吐物が付いていた床を、次亜塩素酸ナトリウム溶液を使って消毒します。



④床の消毒が終わったら、ゴム手袋は、付着したおう吐物が飛び散らないように裏返しに外して処分し、手を念入りに洗いましょう（次亜塩素酸ナトリウム溶液を含ませた雑巾などを10秒程度踏んで、靴底も消毒するとなお良いです）。

